



腸管出血性大腸菌感染症

オー

0157等に注意しましょう

1 腸管出血性大腸菌感染症の特徴

大腸菌は、家畜や人の腸内にも存在します。ほとんどのものは無害ですが、このうちいくつかのものは、人に下痢などを起こすものがあり、病原大腸菌と呼ばれています。

その中には、ベロ毒素を産生し、出血を伴う腸炎や溶血性尿毒症症候群（HUS）を起こす腸管出血性大腸菌と呼ばれるものがあります。代表的なO157の他にO26やO111等が知られています。

- ★ 感染力が強く非常に少ない菌数で感染する。
- ★ 大腸で増殖するときに毒素を産出する。
- ★ 2～14日と潜伏期間が長い。



2 主な症状

- ★ 激しい腹痛と水様性下痢
- ★ 血便（鮮血便）
- ★ 発熱、吐き気、嘔吐等を併発する場合もある。



※ 症状のある方は、速やかに医師の診察を受け、指示に従って下さい。

3 感染経路

- ★ 菌に汚染された飲食物を食べる。
- ★ 感染者の糞便を触った手等を経由して汚染されたものを口にする。

4 予 防

★ 生肉は要注意！

子どもや高齢者など抵抗力の弱い人は、たとえ法律の基準に合った生食用食肉（ユッケ、タタキ等）であっても、食べないようにしましょう。また、生食用の牛レバーは、法律で販売・提供が禁止されていますので、レバーはしっかり加熱して食べましょう。

- ★ 食品は内部まで十分に加熱して食べましょう。
(中心温度が75℃、1分以上)



- ★ 焼肉、バーベキュー、すき焼きの時、生肉を触る箸と食事用の箸は別にしましょう。

- ★ 調理前後、食事前、用便後は必ず石けんで手をよく洗いましょう。



- ★ タオルの共用はやめましょう。

- ★ まな板・包丁などの調理器具は必ずよく洗い、塩素系消毒剤などで消毒しましょう。

- ★ 赤ちゃんに下痢が見られるときは、オムツを替えた後、沐浴した後など、こまめに石けんで、手を洗うようにしましょう。



お問合わせ・相談はお住まいの地域の健康福祉事務所（保健所）にご相談下さい。
神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市についてはお住まいの地域の保健所・区役所にご相談下さい。

○ 兵庫県健康福祉事務所（保健所）

芦 屋 0797-32-0707

(休日・夜間 0797-32-0257)

伊 丹 072-785-2371

(休日・夜間 072-777-4111)

明 石 078-917-1627

(休日・夜間 078-917-1128)

中播磨 0790-22-1234

(休日・夜間 0790-22-1234)

赤 穂 0791-43-2321

(休日・夜間 0791-43-2321)

朝 来 079-672-0555

(休日・夜間 079-672-5995)

洲 本 0799-26-2062

(休日・夜間 0799-26-2051)

宝 塚 0797-72-0054

(休日・夜間 0797-74-7099)

加古川 079-422-0002

(休日・夜間 079-422-0006)

加 東 0795-42-9436

(休日・夜間 0795-42-6287)

龍 野 0791-63-5143

(休日・夜間 0791-63-5143)

豊 岡 0796-26-3660

(休日・夜間 0796-26-3671)

丹 波 0795-72-0500

(休日・夜間 0795-72-3488)

※一般的なご質問等は、平日(日中)に連絡ください。

※休日・夜間に食中毒（疑い）の発生がある場合は休日・夜間連絡先に連絡ください。